

ⅢⅢⅢ 総会報告 ⅢⅢⅢ

◆2023年度日本マイクログラフィティ応用学会総会報告

去る2023年3月27日(月)、オンライン開催において2023年度総会が開催された。以下に議事を報告いたします。

1. 会長挨拶
2. 選挙結果報告

役員選挙結果

<得票総数 74件> 有効票 74件, 白票 0件

候補者氏名 (五十音順)	所属	得票
今井 良二	室蘭工業大学	72
田川 俊夫	東京都立大学	66
野村 浩司	日本大学	69
山本 信	(株)IHI 検査計測	66
渡邊 匡人	学習院大学	71
渡邊 勇基	(株)エイ・イー・エス	67

<新役員名簿>

会長 野村 浩司 (日本大学) ★
副会長 (編集委員長/JASMAC-35 プログラム委員長)
今井良二 (室蘭工業大学) ★
副会長 (次期会長) 渡邊匡人 (学習院大学) ★
庶務 織田裕久 (宇宙航空研究開発機構)
会計 橋本 望 (北海道大学)
理事 宇宙惑星居住科学連合連携
橋本博文 (宇宙航空研究開発機構)
学会顕彰 三上真人 (山口大学)
企画・戦略 (IF 取得)
田川俊夫 (東京都立大学) ★
チャレンジ2022
留目一英 (株)SPACE WALKER)
ベイロード・地上実験
山本 信 (株)IHI 検査計測) ★
学術会議対応 (若手の会) /JASMAC 学生表彰
白鳥英 (東京都市大学)
JASMAC-34 開催 山中淳平 (名古屋市立大学)
JASMAC-35 開催 水口 尚 (琉球大学)
広報 (HP・SNS・他)
鈴木進補 (早稲田大学)
白鳥英 (東京都市大学)
織田裕久 (宇宙航空研究開発機構)
監事 (会計監査)
渡邊 勇基 (株)エイ・イー・エス) ★
無印・・・2022年4月～2024年3月
★印・・・2023年4月～2025年3月

<賛助会員企業一覧>

【3口会員】 1社 (株)IHI エアロスペース富岡事業所
【1口会員】 2社 ダイヤモンドエアサービス(株)
(財)日本宇宙フォーラム

<2022年度会員異動報告>

入会: 正会員 5名
学生会員 11名 計 22名
退会: 正会員 5名
学生会員 18名 計 23名
除名 正会員 6名
学生会員 0名 計 6名

<2023年3月20日現在会員数>

正会員 121名
学生会員 27名
永年会員* 14名
顧問 4名
賛助会員 3件 (5口) 計 166名, 3件

3. 役員の選任
4. 新役員挨拶

■2022年度活動報告■

活動について各担当理事より事業報告があった。

【協賛報告】2022年1月1日～12月31日

承諾日 会議名/主催団体/会期
1/7 第19回 HASTIC 学術技術講演会
《オンライン開催》北海道宇宙科学技術創成
センター(HASTIC) 2022.3.8
4/4 第19回流動ダイナミクスに関する国際会議
(ICFD2022) 《ハイブリット開催》
ICFD 東北大学 流体科学研究所 2021.11.9-11
5/22 2022年生態工学会年次大会
東京農工大学府中キャンパス 2022.6.24-25
7/7 第60回燃焼シンポジウム《オンライン開催》
広島県広島市のRCC文化センター
日本燃焼学会 2022.11.21-24
8/25 第51回結晶成長国内会議 (JCCG-51)
広島県広島市のRCC文化センター
日本結晶成長学会 2021.10.27-29
12/20 第20回 HASTIC 学術技術講演会
《オンライン開催》北海道宇宙科学技術創成
センター(HASTIC) 2023.3.7

【各委員会事業】

1月20日 第126回編集委員会
3月2日 JASMAC-34 打ち合わせ
3月25日 総会予行練習
3月28日 2022年度理事会・総会

4月9日	無重力アイデアコンテスト打合せ
4月18日	JASMAC-34 実行委員会
4月20日	編集委員会事前打合せ
4月21日	第127回編集委員会
7月8日	JASMAC-34 毛利ポスター打合せ
7月26日	第128回編集委員会
7月2日	JASMAC-34 実行委員会
8月22日	毛利先生と打合せ
9月14-16日	JASMAC-34 開催
9月15日	2022年秋季理事会・総会
10月19日	編集委員会事前打合せ
10月20日	第129回編集委員会
11月29日	幹部委員会

 高校生の無重力アイデアコンテストへの協力

- 8月5日 学芸大付属高校で微小重力実験装置の紹介と生徒からの質問に回答。
- 9月19日 日本大学生産工学部の落下塔見学を実施。生徒6名が参加。
- 3月30日 高校生の落下塔微小重力実験を実施予定。

【学会誌発行事業】

E-journal 「IJMSA」 vol.37 No.1~4 (2020) の発行 (j-stage)
Vol.39-1 (2022.1)

- ・ Status of the Electrostatic Levitation Furnace in the ISS -Surface Tension and Viscosity Measurements/ Takehiko, et.al.
- ・ Numerical Simulation of Solid-Gas-Liquid Multiphase Flow on GPU/ Yohei ANZAI, et al.
- ・ Study on Propellant Supply System for a Small-scale Supersonic Flight Experiment Vehicle (Study on a Propellant Management Device)/ Naoki SOTA, et al.

Vol.39-2 (2022.4)

- ・ Observation of Flow Pattern and Jet-tip Height Issuing from a Nozzle at Tank Bottom in Microgravity/ Osamu KAWANAMI, et al.

Vol.39-3 (2022.7)

- ・ Circular, Spinning and Paired-Particle Motions of Fine Particles in a Particle Cloud Confined in a High-Frequency Plasma/ Tetsu MIENO, Teruaki KOGA
- ・ Development of Forced Cool-Flame Ignition and Detection Device for a Fuel Droplet / Iku SAITO, et al.
- ・ Pre-nucleation Clusters and Complex Nucleation in Soft Matter and the Potential Roles of Space Experiments/ Sai KATAMREDDY, et al.

Vol.39-4 (2022.10)

- ・ Numerical Investigation for Measuring Interfacial Tension of Undercooled CuFe Alloy by an Oscillating Droplet Method in the International Space Station/ Ken-ichi SUGIOKA, et al.
- ・ Numerical Simulation of Thermocapillary Migration of a

Droplet on Temperature Gradient Wall/ Seiya MAKI, et al.

●Vol.1-No.1 から現在まで全ての論文を J-stage 公開済み

【編集委員会事業】

論文賞の推薦：

編集委員会では、過去5年間に発行された論文から推薦を行っている。今年度は、JASMA 論文賞の候補として2論文を推薦した。

インパクトファクターの取得について：

過去2年の引用をしてもらえようシステムにし、査読者に引用のチェックをしてもらい、J-stage に全ての論文を掲載し、確実に引用数が増えている。現状はあともう少しで取れそうと考えている。引き続き、引用件数増加の努力をしていく。また、Scopusへ登録申請を行ったが、掲載論文数が少ないため不採用の結果でした。

今後論文数を増やし、再度申請を行う準備を進めている。

編集方針の変更：

J-STAGE に登録以降海外からの投稿論文も増えてきており、今後国際論文誌としての立場を確立する目的で、特定分野の特集を毎号組むのではなく各号に幾つかの分野の論文を掲載する編集方針に変更した。なお、特定の分野、研究プロジェクトで特集が組むことができれば随時組み込んでいく。また、編集委員を増やし、分野の拡大、論文数増加を期待している。

【表彰関係事業】

以下 JASMAC-34 にて表彰した。

- 1) 2022 年度 学会賞：石川 正道 (同志社大学教授)
- 2) 2022 年度 論文賞：

「Limiting Oxygen Concentration Trend of ETFE-Insulated Wires under Microgravity」
 Ken MIZUTANI, Kyosuke MIYAMOTO,
 Nozomu HASHIMOTO, Yusuke KONNO
 and Osamu FUJITA

Int. J. Microgravity Sci. Appl. 2018 p350104

- 3) 2022 年度 若手奨励賞：

折笠 勇 (早稲田大学)

- 4) JASMAC-34 学生口頭発表最優秀賞受賞者

・家村和輝 (日本大学)

燃料二液滴で生じる冷炎振動に関する位相空間を用いた研究

・佐伯琳々 (広島大学)

航空機の放物線飛行を利用したアルミニウム粉塵爆発実験

・下村健太 (千葉工業大学)

雰囲気酸素分圧制御下におけるトランス因子と六方晶 LnMnO₃ 相の生成の関係

・千野祥瑚（東京理科大学）

低重力および地球上重力環境下密閉容器内での液体挙動 -ISS 軌道上実験に向けて-

【会計報告】

<2022 年度決算>

2022 年度決算，橋本望理事（会計担当）および渡邊監事による監査結果について報告され，質疑応答の後承認された。

<2023 年度予算>

2023 年度予算案が，橋本望理事（会計担当）より示され，質疑応答の後承認された。

【会則変更について】

4 年ごとに会長と副会長が同時に入れ替わることから事業の継続性に問題があるため，次のような変更を承認された。

・新たに次期会長候補の副会長をおく。

（理事任期：次期会長候補としての副会長 2 年，会長 2 年）

・従来の副会長（編集委員長兼任）

（理事任期：4 年）

【会則改訂】

第 13 条 本学会には，次の役員をおく。

会長 1 名

副会長 2 名

常任理事 10 名以内（会長，副会長を含む）

理事 8 名以内（ただし，常任理事との合計を 15 名以内とする）

監事 1 名

■2023 年度活動計画■

【イベント事業】

JASMAC-35

日時：2023 年 10 月 25 日（水）～10 月 27 日（金）

場所：：沖繩産業支援センター（一部オンライン開催）

実行委員長：水口 尚（琉球大学）

【表彰関係事業】

2023 年度日本マイクロ重力応用学会学会賞公募

2023 年度日本マイクロ重力応用学会論文賞公募

2023 年度日本マイクロ重力応用学会研究奨励賞公募

2023 年度日本マイクロ重力応用学会学会若手奨励賞公募

【JASMA 活性化検討事業】

2023 年度の分科会の募集は休止する。

若手の会の活動活性化を支援する。

ASGSR の理事会に参加。

宇宙惑星居住科学連合の活動への参加。

【広報事業】

Twitter, YouTube など SNS にて配信を強化を検討。

ホームページの英語ページ改善を継続。

高校生へのアウトリーチ活動。

【学会誌発行事業】

e-journal 「IJMSA」 Vol.40 No.1～4（2023）の発行（Web）

Vol.40-1 1 月末（発行済み）

Vol.40-2 4 月末発行，1 月末入稿〆切

Vol.40-3 7 月末，4 月末入稿〆切

Vol.40-4 10 月末，7 月末入稿〆切

【インパクトファクター】

インパクトファクター取得に向けた活動を継続。

Scopus へ再登載申請予定。